

高知県の土地改良

発行：水土里ネット高知（高知県土連） 高知市上町2丁目9番12号
 会長：池田 洋光 TEL:088-823-5576 FAX:088-872-5046
 印刷：近森騰写堂 高知市本町5-5-18



きれいに柴刈りされた高須の棚田（土佐町高須）

主 な 内 容

◇謹んで新年のお慶びを申し上げます	1
◇年頭のごあいさつ	2～5
◇「農業農村整備の集い」の開催	6
◇令和6年度 農業農村整備予算の確保について要請活動を実施	7
◇令和6年度 農業農村整備事業関係予算概算決定の概要	8
◇「令和5年度 統合整備推進研修（会計研修）」の開催	9
◇「水土里情報システム操作研修会」の開催	9
◇令和5年度 高知県農業集落排水事業推進協議会研修会	10
◇令和5年度「多面的機能支払交付金」に係る事務・技術研修会の開催	11
◇「令和5年度 土地改良区等役職員研修会及び換地計画実務研修会」の開催	12
◇全国土地改良事業団体連合会長表彰（中土佐町久礼土地改良区理事長）	13
◇会員の活動紹介（水土里ネット土佐）	13
◇進藤金日子参議院議員・宮崎雅夫参議院議員による国政報告	14
◇「未来へつなごう！ふるさとの水土里子ども絵画展2023」	14
◇女性理事・女性職員の登用を進めよう	15

謹んで新年のお慶びを申し上げます

水土里ネット高知（高知県土地改良事業団体連合会）

令和6年1月1日現在

会 長	池 田 洋 光	（中土佐町長）
副 会 長	大 野 哲	（高知市東部土地改良区理事長）
副 会 長	横 山 幾 夫	（安芸市長）
常務理事	釣 井 利 勝	（学識経験者）
理 事	前 田 倫 夫	（学識経験者）
〃	大久保 暢 夫	（栃ノ木堰土地改良区理事長）
〃	濱 田 豪 太	（香南市長）
〃	平 山 耕 三	（南国市長）
〃	和 田 守 也	（土佐町長）
〃	池 田 牧 子	（いの町長）
〃	板 原 啓 文	（土佐市土地改良区理事長）
〃	池 田 三 男	（津野町長）
〃	中 尾 博 憲	（四万十町長）
〃	中 平 正 宏	（四万十市長）
〃	中 平 富 宏	（宿毛市長）
代表監事	楠 瀬 耕 作	（須崎市長）
監 事	植 田 壯一郎	（室戸市長）
監 事	濱 田 精 一	（四万十市入田土地改良区理事長）

外 職 員 一 同

高知県農業農村整備事業推進協議会	会 長	溝 淵 孝	（芸西村長）
高知県農業集落排水事業推進協議会	会 長	古 味 実	（仁淀川町長）
高知県多面的機能支払推進協議会	会 長	釣 井 利 勝	（県土連常務理事）

年頭のごあいさつ



水土里ネット高知
 (高知県土地改良事業団体連合会)
 会長 池田 洋光

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様方には、輝かしい新年をお迎えになったことと心からお慶び申し上げます。平素は農業農村整備事業の推進並びに水土里ネット高知の運営にあたりまして、格別のご支援とご協力を賜っておりますことに心より厚く御礼を申し上げます。

元日に石川県能登地方を震源とする「令和6年能登半島地震」が発生し、北陸地域を中心に甚大な被害が発生しました。お亡くなりになられた方のご冥福を衷心よりお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

令和5年を振り返りますと、ロシア軍によるウクライナ侵攻は2年になろうとする今も収束することなく続き、イスラエルではパレスチナ自治区ガザへの侵攻により、幼い子ども達を含めた多くの民間人が犠牲になるなど、混沌とした状況に終わりは見えません。

一方で国内においては、4年間にわたる新型コロナウイルス感染症の位置づけが2類から5類に移行し行動制限が取れましたので、今年は昇龍のごとく景気が回復していくことを願っております。

さて、農業・農村においては、農業の担い手不足と高齢化の進行による農地の荒廃や、肥料・資材等の価格の高騰による生産コストの高止まりによる農業所得の減少など、営農継続を取り巻く環境は、依然として厳しい状況が続くことが想定されます。

これらを背景として、「農政の憲法」とも言われる「食料・農業・農村基本法」の20年ぶりの改正が予定されています。「農村に関する基本的施策」の中では土地改良区の役割として、人口減少・高齢化が進む中での、農業用水利施設の保全管理等の機能を発揮するため、引き続き、再編整備等を通じて、運営基盤の強化を図ることが求められています。

こうした中で、昨年末に令和6年度当初予算と令和5年度補正予算の農業農村整備事業費が閣議決定され、令和6年度当初予算4,463億円、令和5年度補正予算1,777億円を合わせて6,240億円を計上することができましたことは、会員の皆様とともに要請活動を展開した成果だと感謝しております。これからも政府・与党・県選出国會議員に対し、農業・農村施策の実情と対策を訴え、地域の要望を十分に満たすだけの予算額を当初で確保できますよう、引き続き関係方面へ要請して参りたいと思います。

本県においては、農業全体を下支えする基盤整備事業の推進を掲げ、優良農地の確保と担い手への農地集積等を加速化するため、地域のニーズに応じた基盤整備を推進し、「高知県産業振興計画」に掲げる「地域で暮らし稼げる農業」を目指しているところであります。

こうしたことから、水土里ネット高知では、国・県が目指す方向の実現に向け、関係機関とより密接な連携を図り、培ってきた技術と経験を活用し、今後も会員の皆様方の負託に応えるべく、役職員一同業務執行に努めてまいり所存です。

結びに、皆様方のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。

年頭のごあいさつ



全国水土里ネット
(全国土地改良事業団体連合会)
会長 二階俊博

令和6年の年頭に当たり、土地改良に携わる全国の皆様に、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。
本年元日に石川県能登地方を震源とする「令和6年能登半島地震」が発生し、北陸地域を中心に甚大な被害が発生しました。お亡くなりになられた方のご冥福を衷心よりお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。
当会も被災地域の日も早い復旧・復興に向けて全力で取り組んでまいりますので、関係各位におかれましてもご支援をお願いします。
昨年は、国内では新型コロナウイルス禍が一段落する一方、ロシアによるウクライナ侵略に加え、中東においても軍事衝突が起こるなど、国際的な混乱が続く年となりました。
国内においては、農業者の高齢化や減少が進み、農地や農業用水の管理に支障が生じているほか、資材価格と電力料金の高騰が土地改良区の運営を圧迫しています。
このような情勢の中、命を支える食料の確保は、後回しにできない国民ニーズであり、食料安全保障の強化は、国家の最重要課題とされ、食料・農業・農村基本法の見直しにおける大きなテーマとして議論されています。
我々は、食料安全保障の確立の観点からも、食料生産を支える農業生産基盤を維持し、国民の不安を解消していかなければなりません。
令和6年度農業農村整備事業関係予算につきましては、全国の関係者の皆様の熱意ある要請活動の結果、政府予算案において、4,463億円を確保することができました。令和5年度補正予算を含めると昨年度を上回る6,240億円となります。
御尽力いただいた関係各位に心から御礼を申し上げます。
他方、第5次男女共同参画基本計画や土地改良長期計画においても令和7年度までに土地改良区及び土地改良区連合の女性理事の割合を10%以上とすることが成果目標とされており、残された期間は2年余りとなります。
将来の土地改良組織の体制強化・発展のために女性の参画を積極的に進めていかなければなりません。皆様の御理解と御協力をお願いいたします。
私は、本会の会長に就任以来、「闘う土地改良」を旗印に組織一体となって闘ってまいりました。土地改良の代表として進藤金日子参議院議員、宮崎雅夫参議院議員が「車の両輪」となって、皆さんの声を聞き、現場が直面している課題解決の処方箋を国の政策に反映させるよう奮闘しておられます。皆さんの声を国会に届けるためにも、お二人の活動の支援をお願いいたします。「農業農村の振興」を果たすためには、限りなく闘い続けていかなければなりません。
男女ともに一致団結して、更なる闘いを続けていこうではありませんか。
本年も皆様の地域において更に農業・農村が活力を得て、一層発展しますよう御期待申し上げますとともに、様々な不安が払拭され、全国の皆様が日々健やかに過ごされますよう御祈念申し上げます。私の新年の御挨拶といたします。

年頭のごあいさつ



全国水土里ネット会長会議顧問

財務大臣政務官 しん どう かね ひ こ
参議院議員 進 藤 金子

新年、明けましておめでとうございます。

本年は元日から能登半島地震が発生いたしました。お亡くなりになられた方のご冥福を心からお祈りいたしますとともにご遺族の皆様にお悔やみを申し上げます。また、被災された皆様にお見舞いを申し上げます。被災地域の復旧、復興に向け、私も全力を尽くしてまいります。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

高知県土地改良事業団体連合会の会員の皆様には、旧年中大変お世話になりました。昨年末、財務大臣政務官を拝命いたしました。本年も現場主義、地域主義に徹し、国家の発展と農業農村の振興のため全力を尽くしてまいります。本年もよろしくお願い致します。

昨年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、国民の生活も平穏を取り戻しつつあります。一方、ロシアのウクライナへの侵略は昨年も収束せず、10月にはイスラエルとパレスチナの紛争も勃発しました。こうした状況下において、エネルギー価格、小麦・とうもろこし等の穀物価格、飼料価格や肥料価格、資材価格等も概して高止まりの傾向にあり、物価上昇が国民生活を圧迫しています。

土地改良予算については、昨年11月に成立した令和5年度補正予算で1,777億円（TPP等対策：760億円、食料安全保障対策：460億円（うち重複300億円）、国土強靱化5か年加速化対策：857億円）が措置され、令和6年度当初予算政府原案の4,463億円と合わせて6,240億円となり、令和5年度予算よりも106億円上回る予算を確保しました。この予算額で各地域において必要な事業を計画どおりに実施可能かどうか、現場の実情をしっかりと精査していく必要があると考えています。

さて、今年の農政における大きな課題は、食料・農業・農村基本法の改正です。政府が昨年6月に決定した「食料・農業・農村政策の新たな展開方向」の具体的な施策の内容について、自民党では昨年9月から「農業基本政策」、「農地政策」、「食料産業政策」の3つの検討分科会を設置し、私も参画して少数のメンバーで議論を重ねました。昨年末には、検討結果を取りまとめ岸田総理へ提言を行うとともに、「食料安全保障強化政策大綱」の改定に当たって提言内容が反映されました。この大綱が本年の通常国会に提出される食料・農業・農村基本法改正案や関連法案、予算制度につながってまいります。

提言は、「食料安全保障の抜本的な強化」、「環境と調和のとれた産業への転換」、「人口減少下における生産水準の維持・発展、地域コミュニティの維持」の観点から構成されており、生産基盤の維持につながる農地の確保、農業生産基盤整備と保全の推進、人材の育成と確保等、今後進めるべき主要施策を具体的に提言しています。

私は、従来から我が国の食料供給力（食料自給力）の強化に当たっては、①農地・農業用水等の農業資源の機能の維持・向上を図る土地改良対策、②農業者を確保・育成する担い手対策、③農業技術の向上を図る試験・研究、普及・生産対策を別々でなくパッケージで早急に実施することが必要と訴えています。

「食料自給力」の最も基礎的なものが「農地・水等の農業資源」であり、農業者の激減が見込まれる中で農地と水の持っている機能を維持・増進する土地改良はこれまでも増して重要となります。私は、本年も土地改良予算の安定的な確保に努め、法律の整備や制度の拡充等土地改良事業の環境整備を行い、農業農村の振興に向けて更に邁進してまいります。皆様からのご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。また、貴連合会のご発展とご繁栄を祈念し、新年のご挨拶といたします。

年頭のごあいさつ



全国水土里ネット会長会議顧問

みや ざき まさ お
参議院議員 宮崎 雅夫

元日の夕刻に発生した「令和6年能登半島地震」により、尊い命を失われた方々に哀悼の誠を捧げさせていただきます。また、被害に遭われ、不自由な避難生活を余儀なくされている皆様には心よりお見舞いを申し上げますとともに、速やかな生活基盤の回復と、今後進められる農地・農業用施設を含む被害状況の把握や早期復旧に向け、私も関係機関等と連携しながらしっかりと対応してまいります。

また、本件地震のほかにも、昨今の激甚化、頻発化する自然災害は、昨年も全国各地で風水害や土砂災害等を発生させ、さらに、夏場の高温や渇水など農業用水の安定供給にも影響を及ぼしています。被災された全ての方々に心よりお見舞い申し上げ、早期復興に皆様とともに力を合わせて対応してまいります。

さて、辰年を迎え、高知県土地改良事業団体連合会ならびに会員各機関、関係の皆様方におかれましては、日頃より地域の重要な資源である水と土を守り、地域農業の発展や農山村の活性化に向け、土地改良事業の円滑な推進や土地改良施設の適切な管理にご尽力いただいておりますことに心から敬意を表しますとともに、私、宮崎雅夫の国政活動に多大なるご支援とご指導を賜り衷心より感謝申し上げます。

私も皆様方から多くのご支援をいただきつつ、現場でお聞きした皆様の声やご要望等に対し、それぞれの地域事情に即した解決に向け、国政の場から全力で対応してまいりました。こうしたご要請への対応も含め、昨年11月に成立した令和5年度補正予算では、土地改良関係として、昨年度の補正予算から100億円増の1,777億円（食料安全保障強化対策160億円、総合的なTPP等関連対策760億円、防災・減災・国土強靱化対策857億円）を確保できました。この中には、皆様方から強いご要望があった土地改良施設にかかる電力料高騰分の7割を支援する制度を4月まで延長する対策も含まれています。加えて、12月に閣議決定した令和6年度当初予算案では、前年を上回る4,463億円が計上され、補正予算と合わせた総額は6,240億円となっております。これから行われる通常国会において、参院予算委の理事として、早期成立に向け努力してまいります。

さらに、来る通常国会では、「農政の憲法」とも言われる「食料・農業・農村基本法」の四半世紀ぶりの改正が予定されていることから、我が国の食料安全保障のあり方や環境に配慮した農業・食品産業の推進、人口減少社会での食料供給基盤の強化等についてしっかり議論を深め、基本法に位置付けていく必要があります。加えて、土地改良が担う重要な役割としての農地や水利施設等の整備、保全管理、農業従事者数の減少傾向に対応するスマート農業の取組、農業農村関係人口の拡大など、土地改良区の運営基盤の強化を図っていくことが重要です。

私も、引き続き「食・土地改良・農山漁村は未来への礎」を基本理念に、現場や地域の課題をしっかりと伺いし、皆様のお声を国政に届け、必要な予算の確保や制度の充実に向け、鋭意努力してまいります。決意ですので、引き続きのご指導とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、高知県土地改良事業団体連合会ならびに会員各位、関係の皆様の方々の益々のご発展とご健勝を心より祈念申しあげ新年の挨拶とさせていただきます。本年もよろしくようお願い申し上げます。

「農業農村整備の集い」の開催 — 農を守り、地方を創る予算の確保に向けて —

日時：令和5年11月7日(火) 13時30分～15時00分

場所：砂防会館別館「シェーンバッハ・サボー」

東京都千代田区・砂防会館別館「シェーンバッハ・サボー」において、「農業農村整備の集い」が開催され、農業農村整備関係者約1,250名が参集し、本県から、高知県農業農村整備事業推進協議会 溝渕会長、高知県農業集落排水事業推進協議会 古味会長、当連合会 池田会長が参加した。

はじめに、進藤全国水土里ネット会長会議顧問が祝辞を述べられ、続いて、来年度全国土地改良大会開催県の千葉県土連 小島参事より要請案文が提案・朗読され、全会一致で採択された。

続いて、全国水土里ネット女性の会 根本会長より、9月に秋田県で開催された「令和5年度水土里ネット男女共同参画推進大会 in Kazuno」の報告と、宮崎全国水土里ネット会長会議顧問より情勢報告があった。

主催者挨拶では、二階 俊博全土連会長より、「来年度予算の確保に向けて、皆様方の期待に応えられるよう一致団結して取り組んで行く。また、男女共同参画の取り組みを本格化させ、目標達成に取り組むようお願いをする。『闘う土地改良』は限りなく続く、さらなる闘いを続けるようお願いしたい。」と挨拶を述べられた。

また、臨席した宮下農林水産大臣、高市経済安全保障担当大臣、自民党の森山 裕TPP・日EU・日米TAG等経済協定対策本部長、細田自民党農林部会長の方々からは、熱い応援の祝辞が述べられた。

最後に、全国水土里ネット女性の会 根本会長・西副会長、全国水土里ネット平木氏・吉山氏の発声により、参加者一同によるガンバロウ三唱を行い閉会した。



全国水土里ネット 二階 俊博会長より開会挨拶



進藤全国水土里ネット会長会議顧問による祝辞



参加者一同によるガンバロウ三唱



宮崎全国水土里ネット会長会議顧問による情勢報告

令和6年度 農業農村整備予算の確保について要請活動を実施 (農業・農村を支える基盤整備事業の推進について)

日時：令和5年11月6日(月) 13時10分～7日(火) 12時00分

場所：農林水産省他

高知県農業農村整備事業推進協議会（会長 溝渕 孝（芸西村長））、高知県農業集落排水事業推進協議会（会長 古味 実（仁淀川町長））、高知県土地改良事業団体連合会（会長 池田 洋光）は高知県の協力のもと、農業・農村を支える基盤整備事業の推進のため、令和6年度の農業農村整備事業予算の確保について、財務省、農林水産省、県選出国會議員に対し要請活動を行った。



横山 紳 農林水産事務次官



長井 俊彦 農村振興局長



緒方 和之 農村振興局 整備部長



漆畑 有浩 財務省 主計局 主計官



萩生田 光一 衆議院議員
自由民主党 元政務調査会長



中谷 元 衆議院議員

要請内容

1. 農業競争力を強化するための基盤整備予算の確保

担い手への農地集積・集約化や高収益作物への転換等により農業の体質を強化し、地域で暮らし稼げる農業を展開するために、農業全体を下支えする基盤整備の予算を十分に確保することを要請します。

2. 農村地域の防災・減災対策を着実に推進するための予算の確保

南海トラフ地震対策や豪雨対策としてのため池改修など、農村地域の防災・減災対策を着実に推進するために、「農村地域防災減災事業」の予算を十分に確保することを要請します。

令和6年度 農業農村整備事業関係予算概算決定の概要

政府は令和5年12月22日、令和6年度当初予算政府案を閣議決定した。

農業農村整備事業費においては、令和6年度に執行可能な予算として、補正予算と当初予算を合わせ6,240億円（当初予算対前年比100.1%）を確保できた。

厳しい財政事情の中で、諸課題の解決に必要な予算を確保できたのは、偏に関係者の皆様の強い要請と熱意を政府と与党にしっかりと受け止めていただいた結果だと思われる。

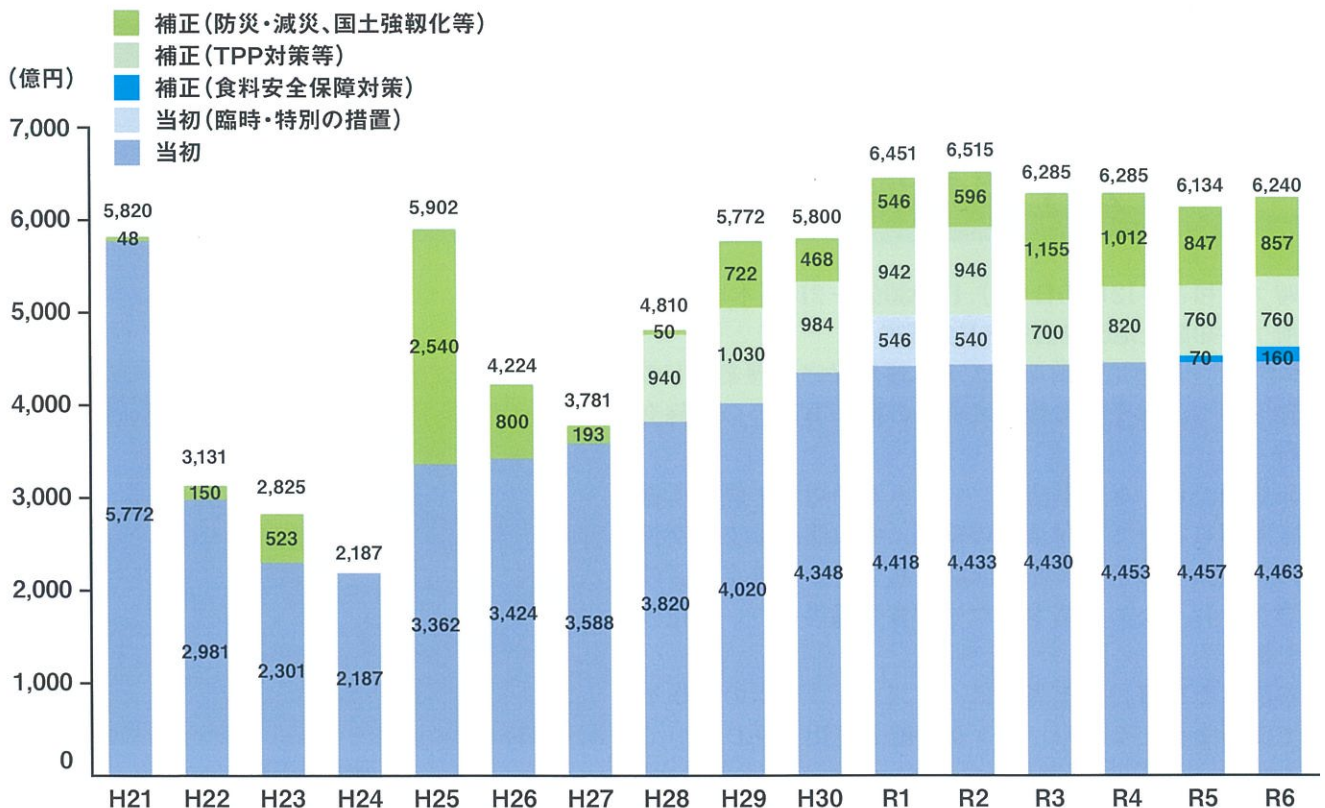
令和6年度予算等

（単位：億円）

	令和5年度 当初予算	令和6年度 当初予算 A	令和5年度 補正予算 B	合計 A+B
農業農村整備事業(公共)	3,323	3,326 (100.1%)	1,777	5,103
農業農村整備関連事業(非公共) 〔農地耕作条件改善事業、畑作等促進整備事業、 農業水路等長寿命化・防災減災事業、 農山漁村振興交付金〕	543	548 (100.9%)	—	548
農山漁村地域整備交付金(公共) (農業農村整備分)	591	588 (99.6%)	—	588
計	4,457	4,463 (100.1%)	1,777	6,240

注：計数は四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがある。

農業農村整備事業関係予算の推移



※ R4年度補正予算の防災・減災、国土強靱化等には食料安全保障対策分30億円を含む

「令和5年度 統合整備推進研修（会計研修）」の開催

日時：令和5年10月3日(火) 10時00分～15時30分

場所：高知会館

高知会館「飛鳥」において、「令和5年度 統合整備推進研修（会計研修）」を開催し、土地改良区役職員や県、市町村担当職員44名が本研修を受講した。

本研修は、土地改良法の改正から5年を経過して、土地改良区の貸借対照表の作成及び新会計基準による決算書類の公表を義務化した年度を迎えていることに伴い、複式簿記会計の有効活用を支援する目的で開催された。本年度も全土連から講師を迎え、「会計処理事例」を紹介するとともに、「財務諸表等の作成手続き」と「財務諸表等を活用した財務分析の方法」について、より分かりやすい講義とし、複式簿記会計について理解を深める内容となった。

会計に関する講義後には、「土地改良区団体における男女共同参画」と題し、高知県農業振興部農業基盤課佐川主幹より、高知県の状況と女性理事の登用について説明があり、土地改良における女性参画の更なる理解を求めた。



全国水土里ネット 金内 琴美 支援部主査による講演



全国水土里ネット 田中 克哉 支援部主幹による講演

◆◆ 本会では、複式簿記会計の有効活用等について、会計指導員による指導のほか、ご相談・要望に対する支援を行っておりますので、お気軽にお問い合わせください。 ◆◆

「水土里情報システム操作研修会」の開催

日時：令和5年12月20日(水) 13時30分～21日(木) 12時00分

場所：高知県土地改良会館3F会議室

本会は、「農地地図情報システム運用保守管理業務」の一環として、水土里情報システムの操作方法等の研修会を行った。

研修会では、水土里情報システムを利用して経営所得安定対策における作付農地の確認、中山間直接支払交付金の傾斜角の測定、多面的機能支払交付金の協定地区の確認等を行うための基本操作や情報登録等について指導をした。

参加した市町村の担当者は、実際にシステムの操作をして演習を交えながら、様々な機能と運用方法について学んだ。



研修会の様子

令和5年度 高知県農業集落排水事業推進協議会研修会 (全国町村下水道推進協議会高知県支部) 「町村下水道と農業集落排水の集い」

日時：令和5年10月19日(木) 10時00分～15時30分

場所：高知ちばさんセンター2F会議室1 (午前) 及び大ホール・展示会場 (午後)

高知ちばさんセンターにおいて、町村下水道事業及び農業集落排水事業に携わっている市町村担当職員や関係機関職員(32名)が、事業実施状況や機能強化工事への取り組み方等について研修し、午後からは、管更生工法等の最新技術のデモ施工や展示が開催された。

研修会は、高知県農業集落排水事業推進協議会会長(代理者 仁淀川町 神岡建設課長)の開会挨拶で始まり、高知県公園下水道課から、「農業集落排水事業の実施状況」全般についての資料提供、水土里ネット高知からは、「農業集落排水施設機能強化対策工事に向けて」の留意点や市町村担当者の維持管理についてのスキルアップ方法等の資料提供があった。また、日本下水道管路管理業協会からは、午後からの管路管理技術施工展の概要についての説明があった。

閉会にあたり、町村下水道支部長代理の澤田建設課長より今後も業務に活かせるよう、研修や情報交換ができる計画を行っていききたいとの挨拶があった。

午後からは、「下水道管路管理技術施工展第22回 2023高知」へ合流参加(参加者：約1,600名)し、国土交通省や高知市上下水道局の「全体講演会」や展示会場での管更生技術・維持管理機器等の下水道管路管理全般のデモ施工を生で見る事ができ、今後の実務に役立つ研修会となった。



仁淀川町建設課 神岡課長



高知県土木部公園下水道課
河野 チーフ(環境施設担当)



(公社)日本下水道管路管理業協会
中国・四国支部 副支部長
高知県部会長 玉置 大輔



午前の研修風景



展示会場の様子

令和5年度「多面的機能支払交付金」に係る事務・技術研修会の開催

日時：令和5年11月7日(火) 9時～(のべ5日間)

場所：中央西・中央東・安芸・須崎・幡多(県内5ブロック)

県内5ブロックにおいて、活動組織、市町村担当者を対象として、令和5年度「多面的機能支払交付金」に係る事務・技術研修会を開催し、213組織の代表者等、318名が参加した。

事務・組織運営等に関する研修、機械の安全使用に関する研修、また、機能診断・補修技術等に関する研修を5年間に1回以上実施する必要があることから、本年度は事務・組織運営等・補修技術等に関する研修を行った。研修会は、「R5年度変更点について」、「機能診断と補修について」、「事業実施に係る留意点について」を研修科目として進められた。

また、全国的に活動中の事故が多く発生しており、そのなかで草刈り中の転倒・転落や、草刈り機への接触が多く発生していることから、本年度は初めての試みとして「草刈り作業」をテーマとして班別での意見交換を行い、発表された意見を情報共有した。

これまで近隣の組織との交流はあったが、市町村を越えた組織の活動に取り組む工夫、苦労や課題などを聞く機会が少なかったため、参加者にとって有意義な研修会となった。

令和5年度「多面的機能支払交付金」に係る事務・技術研修会日程表

日	時	地域 ブ ロ ッ ク	
11月7日	13:30～16:30	中央西ブロック	高知市 佐川町 日高村 仁淀川町 土佐市 いの町 越知町
11月22日	13:30～16:30	安芸ブロック	室戸市 安芸市 東洋町 奈半利町 田野町 安田町 北川村 馬路村 芸西村
11月29日	13:30～16:30	須崎ブロック	須崎市 中土佐町 四万十町 梶原町 津野町
11月30日	9:00～12:00	幡多ブロック	宿毛市 土佐清水市 三原村
	13:30～16:30		四万十市 黒潮町 大月町
12月6日	9:00～12:00	中央東ブロック	南国市 香南市
	13:30～16:30		香美市 本山町 土佐町 大豊町 大川村



研修会の様子



グループに分かれての意見交換の様子

「令和5年度 土地改良区等役職員研修会及び換地計画実務研修会」の開催

日時：令和5年11月15日(水) 9時30分～16日(木) 15時10分

場所：ちより街テラス3F ちよテラホール (15日)・土地改良会館3F 会議室 (16日)

ちよテラホール・土地改良会館において、県職員や会員である市町村職員及び土地改良区役職員等44名の参加のもと、「令和5年度 土地改良区等役職員研修会及び換地計画実務研修会」を開催した。

相続登記や分筆登記の手続き及び換地設計基準の講義では、基盤整備事業に携わるうえで不可欠な換地計画の実務について、技術力の強化を図るとともに、土地改良区の組織運営の基盤の強化を目的とした監査実務の講義や、複式簿記会計における疑問点に対する回答の情報共有を行った。

また、土地改良団体における男女共同参画の推進による女性理事登用にに向けた講義もあり、参加者一同が熱心に受講した。

研修科目・講師

月日(曜日)	研修科目	講師
11月15日(水)	相続登記義務化の流れ 分筆登記の手続きについて	高知地方務局登記部門 総括表示登記専門官 横畠 智美
	農業基盤整備資金について	日本政策金融公庫 高知支店 融資課 上席課長代理 池田 伸也
	換地を取り巻く状況等について	中国四国農政局 土地改良管理課 課長補佐 田中 禎史
	土地改良団体における男女共同参画の推進について (高知県の女性理事登用の状況、今後の方針)	高知県土地改良区運営基盤強化協議会 高知県農業基盤課 管理担当 主幹 佐川 夏夕
	土地改良団体における男女共同参画の推進について (男女共同参画の基本事項、行動計画、全国的事例紹介)	全国土地改良事業団体連合会 土地改良研究所 所長 三木 秀一
	土地改良団体における男女共同参画の推進について (女性理事登用にに向けた定款変更について)	中国四国農政局土地改良管理課 団体指導・資金係長 赤澤 朋子
	土地改良区における男女共同参画についての意見交換会	高知県土地改良区運営基盤強化協議会
11月16日(木)	土地改良区の監査実務について	全国土地改良事業団体連合会 支援部 部長 市村 和寿
	複式簿記について (会計研修で寄せられた質問などについて)	松岡宣明税理士事務所 税理士 松岡 宣明
	換地設計基準の作成について	高知県土地改良事業団体連合会 事業課 換地第二係長 沖 克彦



高知地方務局 横畠 智美
総括表示登記専門官



日本政策金融公庫高知支店
融資課 池田 伸也



中国四国農政局 土地改良管理課
課長補佐 田中 禎史



中国四国農政局 土地改良管理課
団体指導・資金係長 赤澤 朋子



全国水土里ネット 支援部長 市村 和寿



全国水土里ネット
土地改良研究所 所長 三木 秀一



松岡宣明 税理士事務所
税理士 松岡 宣明



水土里ネット高知
換地第二係長 沖 克彦



高知県農業振興部
農業基盤課 主幹 佐川 夏夕

全国土地改良事業団体連合会長表彰 (中土佐町久礼土地改良区理事長)

去る令和5年10月11日(水)、第45回全国土地改良大会が福井県で開催され、土地改良事業功績者表彰では、本県から中土佐町久礼土地改良区 山添 道生 理事長が、全国土地改良事業団体連合会長表彰を受賞された。

本土地改良区の受益地は、中土佐町の北部、二級河川久礼川流域及び大坂川流域並びに上ノ加江川流域に広がる、久礼地区、大北地区及び上ノ加江地区からなり、年間降水量が2,600mmを超える多雨地であるとともに、台風の常襲地帯でもある。また、3地区とも生産基盤である耕地が狭小であるうえに不整形で、農道、用排水路も未整備であるため、営農に非常な不便をきたしていることから、県営中山間地域農村活性化総合整備事業等を導入し、土地の有効利用ができるようになった。

山添道生氏は、温厚篤実な性格で人望も厚く、地域の農業事情にも精通し、長年にわたり農業振興のため活躍してこられた。また、各種会合や研修会にも積極的に参加して知識と経験を深め、担い手への農地集積や遊休農地の解消等にも貢献するなど、農業に資するその功績が認められたものである。



山添 道生 理事長(左) と本会 池田 洋光 会長

会員の活動紹介

ふるさと探訪学習「鎌田井筋めぐり」～水土里ネット土佐～

土佐市教育研究所の主催で、令和5年9月から10月にかけて、土佐市の9校の小学校4年生を対象に、「土佐市のくらしを支えてきた井筋の歴史や役割を理解し、ふるさとの自然(水)を大切にすることを育む」ことを目的として、鎌田井筋の探訪学習が行われた。施設管理者の水土里ネット土佐(土佐市土地改良区)の協力のもと、鎌田井筋の歴史や農業用水の役割について説明があり、現地学習では、水の大切さや役割について学んだ。児童達は真剣な目で説明に聞き入り、学んだこと疑問をもったことをこれからの学習に生かしていきたいと感想を述べた。



鎌田井筋に関する学習資料

探訪学習の行程



日高村立岩取水操作室にてゲートを操作する小学生



八田堰の製作について説明する森下先生(右)
(昔の提灯測量を再現)

進藤金日子参議院議員・宮崎雅夫参議院議員による国政報告



北川村・進藤議員



三原村・宮崎議員

令和5年9月30日 宮崎雅夫参議院議員が三原村外2市を、令和5年10月16日には、進藤金日子参議院議員が北川村外3市を訪問し、ともに農政を取巻く情勢を報告するとともに、地域の課題や農業基盤整備に関する意見交換を行った。各会場では、集落営農の在り方、日本型直接支払制度及び機構関連事業に関する支援等々の質問が出され、両議員からは丁寧な説明があった。

それぞれの地域で抱える諸問題について、直接議員と意見交換ができ、有意義な一日となった。

両議員は、全国水土里ネット会長会議顧問としてご活躍されており、宮崎議員は全国水土里ネット多面的機能支払促進協議会の顧問も務められている。国政の場において「食と農山漁村を守る」ための取り組みを推進するとともに、土地改良関係者の代表としてさらなる活躍を期待する。

未来へつなごう！ふるさとの^{みどり}水土里 子ども絵画展2023

都道府県水土里ネットと全国水土里ネットの共催事業である「未来へつなごう！ふるさとの水土里子ども絵画展2023」に、全国各地の子ども達より約3,000点の応募作品が寄せられ、作品の中から農林水産大臣賞等6点、協賛企業・団体賞25点、入選142点、地域団体賞52点を決定した。

本絵画展は、「子供達に農村の自然、風景、伝統文化、更に農業用水路などの施設に興味をもってもらい、農業や環境を守ることの大切さに理解を深め、その思いを大人達に届ける」ことを目的として毎年開催されている。

本県においては、地域団体賞「水土里ネット高知会長賞」を、高知市立鏡小学校1年生 竹内康人さんが受賞された。

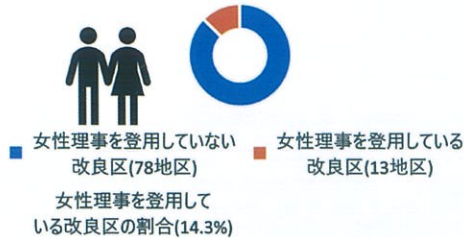
水土里ネット高知会長賞



高知市立鏡小学校 1年生 竹内 康人さんの作品
「くわがたいかぶとむしいのちのたたかい」

女性理事・女性職員の登用を進めよう

令和5年12月末現在 高知県の改良区における女性理事の登用とその割合



「男女共同参画基本計画(第5次)」では、全国の土地改良区において、令和7年度までに女性理事が登用されていない組織数をゼロに、理事に占める女性の割合を10%以上にする成果目標が掲げられています。

農業・農村の振興を支えてきた土地改良を次世代につなげることが我々の役目です。多様な人材の登用と男性にはない視点から、持続可能な組織運営強化の確立を図っていきませんか。

**組合員だけでなく、員外理事でもOKです。
役員改選時期の土地改良区は是非検討をお願いします。**

土地改良事業・財務管理強化の相談は、水土里ネット高知へ

高知県土地改良事業団体連合会では、土地改良事業に関する相談及び助言、指導や複式簿記会計に関する相談業務を、毎月第一月曜日に土地改良会館にて行っています。お気軽にご相談ください。

相談日：毎月第一月曜日（休日の場合は翌日）
土地改良会館 3F 会議室
※緊急の場合は、開設日以外でも随時行っています。

mail : mizututi@mnet-kochi.jp

職員募集中

高知県土地改良事業団体連合会の正規職員（土木技術職）を募集しています。募集要項は本会のホームページに記載していますが、応募される方には業務内容や採用条件等についてご説明しますので、下記枠内記載の連絡先までお知らせください。

農業農村整備の調査測量設計・換地業務・
農業集落排水事業等土地改良事業のご相談は



水土里ネット高知

高知県土地改良事業団体連合会

〒780-0901 高知市上町2丁目9番12号

TEL 088-823-5576

FAX 088-872-5046

HP <http://www.mnet.kochi.jp/>

幡多支所 〒787-0028 四万十市中村山手通19(幡多総合庁舎内)

TEL 0880-35-3314

FAX 0880-35-3316